

56 多文化共生、国際・都市交流の推進

(1) 各国文化の相互理解

●相互理解の促進と生活支援

外国人区民と日本人区民が互いの文化・習慣の違いを認め合い継続的な関係を築いていけるようさまざまな交流事業や講座を実施している。

また、外国人区民の日常生活上の不安を解消し地域の構成員として生活ができるよう、きめ細やかな生活支援を行っている。

1 相互理解促進事業

(1) 外国人と日本人の交流

文化交流カフェ（3月、全2回）を開催した。ねりまワールドフェスティバルについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

(2) やさしい日本語研修

分かりやすい日本語によるスムーズな意思疎通を目指した研修を、区民と区職員を対象として実施した。

(3) 日本語ボランティア実践研修

日本語教授法や関連法令等を学ぶ、日本語ボランティアのスキルアップ研修を実施した。

2 外国人区民への生活支援

(1) 外国語による相談窓口

毎週月～金曜日の午後、区役所本庁舎に外国語による相談窓口を設け、区の事業・文化・学習情報の提供や日常生活上の相談を受けている。（英語・中国語・韓国語・タガログ語）

※韓国語は金曜日、タガログ語は月曜日のみ

(2) 文化交流ひろば 情報コーナー

平日午前10時～午後1時、土・日・祝休日午後1～4時に、文化交流ひろば(光が丘)に情報コーナーを設け、各種の生活情報を多言語により提供している。（英語：火・木・土、中国語：水・金・日、韓国語：月）

(3) 日本語講座

「にほんごのきょうしつ」（9～12月）、「こども日本語教室」（11・12月の土曜日、4回）を開催した。

3 ボランティアとの協働

区の窓口で日本語を母語としない外国人への通訳を行う通訳・翻訳ボランティアや、日本語講師のボランティアの登録を随時受け付けている。令和2年度末現在の登録者数は通訳・翻訳ボランティアが295人、日本語講師ボランティアが109人である。

●海外友好都市等との交流

1 北京市^{かいでん}海淀区

年	動き
昭和63年	「東京都区市町村友好代表团（团长・練馬区長）」が北京市を訪問（交流開始）
平成4年	海淀区長を招き「友好・協力交流に関する合意書」に調印
5年	区民親善訪問団を海淀区へ派遣
14年	・海淀区に桜を寄贈 ・「友好交流10周年記念写真展」開催 ・海淀区少年少女合唱団と練馬児童合唱団による合同演奏会を開催（友好交流10周年記念） ・区長が海淀区を訪問し「友好・協力交流に関する合意書」に調印
19年	・「練馬区・北京市海淀区友好文化交流展」開催 ・「友好交流15周年記念写真展」開催 ・区議会代表团が海淀区を訪問
20年	海淀区から贈られた記念碑（友好交流15周年・練馬区独立60周年記念）を区役所本庁舎正面玄関に設置
24年	・海淀区少年少女合唱団と練馬児童合唱団による合同演奏会を開催（友好交流20周年記念） ・練馬区スポーツ交流団（14人）を海淀区へ派遣
28年	北京市青少年キャラバン訪日団が練馬区を訪問、中学生と交流
29年	練馬区独立70周年記念式典参列のため、北京市海淀区代表团が練馬区を訪問
30年	・練馬区長・区議会代表团が北京市海淀区を訪問 ・北京市海淀区代表团が練馬区を訪問
令和元年	北京市海淀区区民訪問団が練馬区を訪問

（北京市海淀区 ^{いおん}頤和園）



ユネスコの世界遺産に登録されている庭園公園

2 イプスウィッチ市

年	動き
昭和 63 年	練馬区国際交流友好都市提携調査団がオーストラリアを訪問（交流開始）
平成 5 年	区立中学校生徒のイプスウィッチ市への派遣を開始
6 年	イプスウィッチ市長を招き「友好都市提携に関する合意書」に調印
13 年	イプスウィッチ市に友好のシンボル「ネリマガーデン」が開園し、区長、区議会議長が開園式に出席
16 年	区長、区議会議員団がイプスウィッチ市を訪問、「友好都市提携 10 周年に関する合意書」に調印
21 年	区長、区議会議員団が「ネリマガーデン」茶室の完成式典に出席（友好都市提携 15 周年）
22 年	練馬区手工芸作家連盟がイプスウィッチ市自治体 150 周年に参加し、展覧会とワークショップ実施
23 年	・洪水により甚大な被害を受けたイプスウィッチ市に対し、区・区議会から義援金送付 ・イプスウィッチ市の小学生から東日本大震災のお見舞いメッセージ付きのぬり絵が届く
24 年	イプスウィッチ市長と友好訪問団が練馬区を訪問、第 35 回練馬まつりに参加
26 年	・イプスウィッチ市長と友好訪問団が練馬区を訪問 ・「友好都市提携 20 周年に関する合意書」に調印、石神井松の風文化公園での記念植樹を実施
令和元年	イプスウィッチ市訪問団が練馬区を訪問、世界都市農業サミットおよび関連イベントに参加

〔イプスウィッチ市 セントメアリーズカトリック教会〕



市の中心部にある歴史的建造物

3 諸外国との交流

9 年 11 月に練馬区独立 50 周年、フランスにおける日本年などを記念し、フランス・ストラズブール市に桜を寄贈した。10 年 5 月には同市からマロニエの苗木 100 本が寄贈され、区画街路 3 号線と中村小学校に植樹するなどの交流歴がある。

21 年 4 月にはフランス・アヌシー市とアニメ産業交流協定を締結した。

また、令和元年度は、モンゴルからの視察団を受け入れた。

4 海外友好都市等の周知

(1) 海外友好都市紹介事業

①北京市海淀区

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

②イプスウィッチ市

オーストラリアの食文化の紹介（令和 2 年 5 月、11 月、令和 3 年 3 月）

(2) 海外友好都市パネル展

令和 2 年 7 月、区役所アトリウムで海淀区およびイプスウィッチ市について、パネル等による紹介展示を行った。

(3) 友好都市紹介ケースの常設展示

海外友好都市紹介の展示ケースを区役所アトリウムに常設している。

(4) ハワリンバヤル（モンゴルの春まつり）出展

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント自体が中止となった。

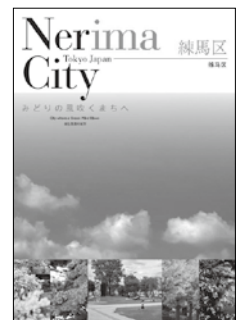
5 ホームステイ・ホームビジット

ホームステイなどの希望者を受け入れるホストファミリー（ボランティア）を随時募集している。令和 2 年度末現在、ボランティア登録数は 105 世帯である。

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受入れを中止した。

6 外国語版区紹介冊子の作成

令和元年 10 月に、海外の都市に向けて区の特徴や施策などを紹介する外国語版区紹介冊子を改訂した。



〔外国語版区紹介冊子〕

7 国内都市（長野県上田市）との交流

昭和 55 年に長野県武石村（現上田市）に武石少年自然の家を開設したことから交流が始まり、平成 6 年に「友好提携に関する合意書」の調印を行った。その後、18 年の市町村合併により上田市となったことから、同年 8 月に改めて「友好提携に関する合意書」の調印を行った。

上田市とは、照姫まつりや練馬まつりで物産の展示・販売による交流を行っている。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

令和 2 年度の交流実績は、つぎのとおりである。

(1) 上田市の「稲倉の棚田」のオーナー募集記事を区報に掲載（令和 2 年 4 月）

(2) 上田市を紹介するパネル展示と市紹介パンフレットを配布（令和 2 年 7 月）

(3) 上田市武石地域自治センター長が練馬区を訪問（令和 2 年 10 月）

(4) 上田市の「信州上田クラインガルデン」のオーナー募集記事を区報に掲載（令和 3 年 1 月）